



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

ご来校ありがとうございました



9月10日(土)は、参観日でした。授業及び人権教育研修の映画鑑賞に参加して下さったみなさま、ありがとうございました。



参観授業はいかがだったでしょうか。タブレットを使っている授業もあり、「ICT教育」が進んでいることも実感されたのではないのでしょうか。



続いて体育館で、人権教育研修会としての映画「見えないから 見えたもの」の上映会を行いました。

岡山県の盲目の先生、竹内昌彦さんの自伝を映画化したものです。映画を視聴し、幼い頃に視力を失い、いじめにあいながらもたくましく生きてきた竹内さんの人生に触れました。ご本人に頑張りはもちろん、周囲の人たちの支えも強く心に残ります。周囲の支えがあるから頑張れる、頑張っているからさらに支える、という好循環を目の当たりにしました。



苦労されたからこそその「死んでいけない。生きていてこそ命」という想いが、強く強く伝わってきます。

「見えないから 見えたもの」…この映画を通して、我々が「見えているけど 見失っていたもの」を教えてくれたように思います。

参観日を迎えて、環境委員が呼びかけ、この日の朝も教室整備などの奉仕活動を行いました。



今回の生徒の手づくりお弁当♡



楽しいお弁当の時間にお邪魔し、恒例になりつつある生徒の手づくりお弁当を取材してきました。協力してくれた、お弁当ハンドメイダー(そんな名前あるのか?)のみんな、ありがとう!



1年男子



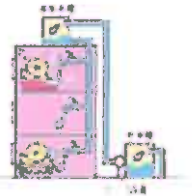
2年女子



3年女子



「水」について知っていますか？



当たり前ですが、我々は「水」なしには生きていけません。ともすれば生活の中で、水道から「水」が出て来て当たり前と思ってしまいますが、その「水」はどのようにして我々の元に届いているのか知っていますか？

先日、「受水槽」「高架水槽」の点検がありました。一般家庭では、直結方式なので、水道の配水管から給水栓を経て水は運ばれますが、学校のように高い建物だと、水道に送る水圧を確保できないので、一旦受水槽に貯水した後、ポンプでさらに高架水槽へ汲み上げてから、給水栓に送られます。よくわかりませんよね、私も最近までよく知りませんでした。とにかく、多くの手間を経て大切な水は我々の元へ届くということです。

本校の受水槽は2階と3階の間の渡り廊下北棟側に、高架水槽は北棟屋上にあります。みなさんはあまり目にするのではないと思いますが、良い機会ですので紹介します。

ちなみに屋上のさらに一段高い位置にある高架水槽の屋上からみる風景は絶景です。写真のような授業風景も、なかなかこの角度から見ることはないでしょう。

余談ながら、ある3年男子が「先生、屋上で何してたんですか？」と。よく見てたねえ〜と褒めてあげたいところですが、授業中、前に集中してたら気づくはずがない（苦笑）！



これが受水槽だ。スチームパンク風でかっこいい？



高くそびえる、アレが高架水槽だ！



絶景かな絶景かな（笑）

豆知識：スチームパンク＝SF（サイエンス・フィクション）のジャンルの一つ。意味としては、「産業革命の原動力となった蒸気機関が、現実の歴史における絶頂期のありようを超越して発展した技術体系や社会を前提としたSF作品」…わけわかりませんね、でもこういうの大好きなんです（苦笑）。



合同あいさつ運動



9日の朝、も恒例になりつつある小中合同のあいさつ運動が行われました。

7時40分、まず中学生が集合し、横断歩道手前、橋の上に並びます。次々登校してくる小学生たちとあいさつ。そして小学生たちは高学年を中心にそのままあいさつ運動に加わっていきます。

この日は2学期始まって間もなくだったからでしょうか、全体に少しあいさつに元気がなかったように思いました。

「いつでもどこでも誰とでも元気よく」といきたいですね。

二十四節気 白露

次候 「鶺鴒鳴く（せきれいなく）」9月12日～16日頃

鶺鴒が鳴き始める頃。日本神話の言われから、恋教え鳥とも呼ばれます。

